

平成 2 7 年

狛江市子ども議会会議録

平成27年8月2日(日)開催

狛 江 市

狛江市子ども議会の目的について

狛江市では，すべての子どもに良質な育成環境を保障し、一人ひとりの子どもが健やかに成長することができる社会の実現を目的として，基本理念を「みんなでつくる、地域で支える、安心して子育てのできるまち・狛江」と定めた「狛江市子ども・子育て支援事業計画」を平成 27 年 3 月に策定しました。その計画の中に，子ども一人ひとりの生命と権利を守り，個性を尊重するとともに，子ども自身も社会の一員としての自覚を培えるよう，子どもの意見を表明する機会として，子ども議会の開催が示されております。

子ども議会は，子どもたちが議会や行政の仕組みや役割を学び，子どもたちの意見や要望を，狛江市のまちづくりに反映させていくことを目的としております。

子ども議会当日の様子





平成27年狛江市子ども議会会議録目次

○8月2日

応招議員	1
不応招議員	1
出席議員	2
欠席議員	2
狛江市議会議員出席者	3
出席説明者	3
議事日程	4
会議に付した案件	4
開 会	5
市長挨拶	6
座る場所の指定	8
子ども議会の日程	8
一般質問	
中野 詩織議員	8
1. 校庭に新しい遊具がほしい	
2. 各クラスに1台電子黒板がほしい	
園田 さやか議員	10
1. 狛江も「ふるさと納税」をしてはどうか	
2. 各校での子ども夏祭りをもっと活性化してほしい	
吉川 理捺議員	12
1. 街灯をLEDにしてほしい	
2. 一小を芝生化してほしい	
石松 夏葉議員	13
1. 家庭科室のテーブルについて	
2. 三小のエレベーター設置について	
宮澤 一真議員	15
1. 歩きタバコの対策について	
2. 「音楽の街狛江」の取り組みについて	
渡辺 琴美議員	16
1. 学校のプールについて	
2. 市民プールの利用者を増やすために考えていることについて	
高橋 里奈議員	18
1. 小学生でも利用できる自習室を作してほしい	
2. 広い公園を作してほしい	
橋本 千花議員	19

1. 学校対抗スポーツ大会を実施してほしい	
2. 夏のお泊まりキャンプで地域・学校の交流会をしたい	
武藤 舞唯議員	21
1. 狛江市が日本で有名になるため、小学生の私たちにできることについて	
2. 明るく楽しい狛江市になるため、地域の人たちとできるクラブ活動等の交流について	
佐藤 佳亮議員	23
1. 狛江駅や和泉多摩川駅に急行が停まってほしい	
2. 狛江に映画館を作ってほしい	
長山 凌大議員	25
1. 大きい図書館を作ってほしい	
2. 多摩川に子どもだけで遊びに行けるようなエリアを作ってほしい	
西澤 歩議員	26
1. 狛江市に大手の会社を誘致して、市を活発にしたい	
2. 防犯の取り組みを進めてほしい	
今村 天有議員	28
1. こまバスの料金について	
2. 交差点について	
表迫 史弥議員	30
1. 校庭のバスケットゴールを新しく取り替えてほしい	
2. 信号無視をする人が多いので、対策を考えてほしい	
北野 真都議員	31
1. 旧狛江第四小学校をもっと活用できないか	
2. 不審者が多いので、パトロールを強化してほしい	
堤 勇真議員	32
1. 室内温水プールについて	
2. なぜ自然を減らしてまで、老人ホームを作るのですか	
杠 知咲議員	34
1. 狛江市の暗いところに街灯をつけてほしいです	
2. 自転車のルールを始めとする交通ルールを再認識し、市民へ呼びかけることについて	
古神子 匠議員	35
1. 狛江の全ての公園に自転車置場、ゴミ箱、トイレを作ってほしいです	
2. スポーツができる公園を作ってほしいです	
教育長 挨拶	37
閉 会	38

平成27年 狛江市子ども議会 会議録

平成27年8月2日（日曜日）午前9時、狛江市議会議場に狛江市子ども議会が招集された。

○応招議員（18名）

1番	中	野	詩	織	議	員
2番	園	田	さ	や	議	員
3番	吉	川	理	捺	議	員
4番	石	松	夏	葉	議	員
5番	宮	澤	一	真	議	員
6番	渡	辺	琴	美	議	員
7番	高	橋	里	奈	議	員
8番	橋	本	千	花	議	員
9番	武	藤	舞	唯	議	員
10番	佐	藤	佳	亮	議	員
11番	長	山	凌	大	議	員
12番	西	澤		歩	議	員
13番	今	村	天	宥	議	員
14番	表	迫	史	弥	議	員
15番	北	野	真	都	議	員
16番	堤		勇	真	議	員
17番	杠		知	咲	議	員
18番	古	神 子		匠	議	員

○不応招議員（なし）

平成27年 狛江市子ども議会会議録

8月2日(日曜日)

出席議員(18名)

1番	中	野	詩	織	議	員
2番	園	田	さ	や	議	員
3番	吉	川	理	捺	議	員
4番	石	松	夏	葉	議	員
5番	宮	澤	一	真	議	員
6番	渡	辺	琴	美	議	員
7番	高	橋	里	奈	議	員
8番	橋	本	千	花	議	員
9番	武	藤	舞	唯	議	員
10番	佐	藤	佳	亮	議	員
11番	長	山	凌	大	議	員
12番	西	澤		歩	議	員
13番	今	村	天	宥	議	員
14番	表	迫	史	弥	議	員
15番	北	野	真	都	議	員
16番	堤		勇	真	議	員
17番	杠		知	咲	議	員
18番	古	神子		匠	議	員

欠席議員(なし)

狛江市議会議員出席者

議	長	小	川	克	美	君
---	---	---	---	---	---	---

出席説明者

市	長	高	橋	都	彦	君
副	市	水	野		穰	君
教	育	有	馬	守	一	君
参	与	石	森	準	一	君
企	画	高	橋	良	典	君
総	務	石	橋	啓	一	君
市	民	榎	本	正	樹	君
福	祉	平	林	浩	一	君
児	童	松	坂		誠	君
環	境	真	田	典	孝	君
教	育	小	泉	一	夫	君

議会事務局職員出席者

事	務	局	長	徳	富	善	子	君
---	---	---	---	---	---	---	---	---

8月2日議事日程

- 第 1 座る場所の指定
第 2 子ども議会の日程
第 3 一般質問

(順 番)

なかの 中野	しおり 詩織 (狛江第一小学校)
そのだ 園田	さやか (狛江第一小学校)
よしかわ 吉川	りな 理捺 (狛江第一小学校)
いしまつ 石松	なつは 夏葉 (狛江第三小学校)
みやざわ 宮澤	かずま 一真 (狛江第三小学校)
わたなべ 渡辺	ことみ 琴美 (狛江第三小学校)
たかはし 高橋	りな 里奈 (狛江第五小学校)
はしもと 橋本	ちはな 千花 (狛江第五小学校)
むとう 武藤	まゆ 舞唯 (狛江第五小学校)
さとう 佐藤	けいすけ 佳亮 (狛江第六小学校)
ながやま 長山	りょうた 凌大 (狛江第六小学校)
にしざわ 西澤	あゆみ 歩 (狛江第六小学校)
いまむら 今村	たかひろ 天宥 (和泉小学校)
おもてざこ 表迫	ふみや 史弥 (和泉小学校)
きたの 北野	まなと 真都 (和泉小学校)
つつみ 堤	ゆうま 勇真 (緑野小学校)
ゆずりは 杠	ちさき 知咲 (緑野小学校)
こかご 古神子	たくみ 匠 (緑野小学校)

8月2日会議に付した案件

議事日程と同じである。

午前9時01分 開会

- 議会事務局長（徳富 善子君） おはようございます。

これから子ども議会を開催します。

開会前に狛江市議会の小川議長から一言ご挨拶をいただきたいと思います。

- 狛江市議会議長（小川 克美議員） 子ども議員の皆さん、そして傍聴席の保護者の皆様、学校関係者の皆様、おはようございます。市議会議長の小川克美でございます。

今日は、待ちに待った子ども議会の日でございます。皆さん、緊張していますか、しているよね。私たち市議会議員も、ふだんはそっちの席にいて、質問するときはこの席に来ます。そうすると、やっぱり緊張しちゃうんですよ。それで早口になっちゃったりかんじやったりするので、1つだけ皆さんに緊張しない秘策を教えてあげますね。

まず、呼ばれて歩いてくるときって、意外と呼吸をしないで来ちゃうので、ここに来たら、まず大きく深呼吸してください。そして、このマイクがあるでしょう。これって、こうやって動くのね。皆さんの席の動きも動くんだけれど、ちょっと離れていても声は拾えるんですけれども、これ



を自分の身長にちょっと合わせるぐらいの余裕を持って質問してもらえると、多分しっくりできると思います。

今日は、それぞれの学校でいろんなことを考えて、質問事項を考えてこられたと思いますけれども、しっかりと市長を初めとして、この部長の皆さんが答えてくれると思いますので、それをまた学校に持ち帰っていただいて、お友達と話していただければ幸いです。

そして、皆さんにとって、今日この日が狛江市政を身近に感じて、狛江をもっともっと愛してもらって、大事に考えてもらえるような一日になることを切に願ってご挨拶とさせていただきます。

今日は皆さん、頑張ってください。

- 議会事務局長（徳富 善子君） ありがとうございます。

なお、小川議長は用事がありますので、ここで退席をさせていただきます。

-
- 議会事務局長（徳富 善子君） それでは、議長が決まるまでの間、司会を務めさせていただきます議会事務局長の徳富です。どうぞよろしくお願いいたします。

-
- 議会事務局長（徳富 善子君） 最初に議長と副議長の選出をお願いするわけです

が、議長と副議長については、私のほうから指名させていただきます。

議長には緑野小学校、古神子匠議員、副議長には狛江第一小学校、中野詩織議員にお願いいたします。

それでは古神子匠議員、議長席に着席願います。

- 議 長（古神子 匠議員） 開会前に1点報告いたします。ビデオ・写真撮影等の申し出があり、許可いたしますので、ご了承いただきたいと思います。

ただいまより平成27年子ども議会を開会します。

議長に選出されました緑野小学校の古神子匠です。よろしくお願いします。

最初に市長から挨拶のため発言を求められておりますので、お願いします。

市長。



- 市 長（高橋 都彦君） 皆さん、おはようございます。

ただいま紹介のありました狛江市長の高橋でございます。本日は、この本当に猛暑の続く中、しかもお休みの日に、子ども議員の皆さん、そして保護者の皆さん、学校関係者の皆さん、おいでいただきましてまことにありがとうございます。

この子ども議会というのは、平成19年度から2年に1度開かれていて、今回で5回目を迎えます。この子ども議会を開く目的といいますか、趣旨というのは、これから狛江の将来を担っていただく小学生の皆さんに、狛江のことを見詰め直してもらって、狛江のいいところ、悪いところはどこかというところなのか、そして皆さんが持っている夢や希望というものはどういうものかということを語ってもらうことによって、少しでも狛江市をよくしていきたい、そして、皆さんのこれからの成長に備えて、何かつかんでいただくものがあるんじゃないかということで、この子ども議会というものをやっています。

今回、質問をするに当たっていろんなことを考えてくれたと思います。今まで考えたこともなかったようなことも考えてくれたかもしれません。そして、今まで知らなかったことを改めて知ったこともあると思います。そういったことをこれからも生かしてもらえるように、今日の子ども議会が成功すればいいなと思っています。

事前に皆さんの質問を一通り見させていただきました。とてもいい質問が並んでいると思います。ただ、質問を見ていて1つ、少しだけ皆さんに認識してもらいたいと思うことがあります。

皆さんは、狛江の人口というのは、今どれくらいあるか知っているでしょうか。高橋さん、どうですかね。どれくらい狛江の人口がいるか知っている。宮澤君、どうですか。

- 5 番（宮澤 一真議員） 1万人ぐらい。

- 市 長（高橋 都彦君） 1万人ぐらい。もうちょっと多いんですね。先月の7月

1日現在で約7万9,500人います、狛江の中に人口が。意外と多いと思ったか、少ないと思ったか、あると思います。ちなみに、小学生だけだと3,250人。

そして、狛江の面積ですけれども、何となく皆さん知っていると思うんですね、狛江というのは狭いまちだなと。どれぐらい狭いか知っているでしょうか。6.39平方キロメートルという狭い市です。平方キロメートルという単位は、ふだん皆さん、使わないから、実感としてどれぐらいかということがわからないと思いますけれども、この市役所を中心として半径1.5キロの範囲内に大体おさまる。1.5キロって、歩くのもそんなに大変じゃないですよ。大体それぐらいの規模の市です。全国に790市がありますけれども、その中で2番目に面積の小さい市です。それはどこかで聞いたことがあると思うんです。

先ほど言いました狛江の人口、約7万9,500人。これを面積で割ると、人口密度というものが出ます。そうすると、その人口密度というのは狛江の場合は、全国に790市があると言いましたけれども、4番目に密度が高い。それぐらい小さい所に集まって市民の人たちが生活しているということになります。つまり、どこかで出会いの機会が多い市だと思うんです。

そして、狛江の特性というものを改めて見た場合に気がつくことがまだあります。1つ大きな特徴として、坂道がほとんどない。坂道らしい坂道ってあまりないんです。ほとんどないと言ってもいいです。つまり、坂道がないということはどういうことかという、大雨が降ったりしても土砂災害のおそれがない。それから、地盤も比較的安定しているから、大きな地震が起きても、それほど大きな被災をすることもないんじゃないかなということがあります。ですから、市のコンパクトさと、それと市民同士の顔と顔の見える関係が築きやすい。

顔と顔の見える関係というのは大事なんですね。昨年、長野でも年末に大きな地震がありましたけど、顔と顔の見える関係というものが十分できていたから、怪我人はいても死者は出なかった。結構大きな地震だったんです。改めて阪神・淡路大震災や東日本大震災を持ち出すまでもなく、顔と顔の見える関係をどれだけ日頃から築いておくか、それが重要だという1つのあかしになると思います。

それと、先ほど言いましたように土砂災害のおそれがほとんどないとか、地盤が比較的安定しているとか、昭和49年に多摩川が決壊して、狛江がほとんど唯一と言っていいほど有名になったのは、その多摩川が決壊で、狛江のことを知らなくても、「ああ、あの多摩川が決壊したところですか」ということを言われることが私もよくありました。そんなことであまり有名になりたくないんですけども、別のことで、今日皆さんの質問にもあるように有名になってほしいなと思うんですけど、そういうこと



も考えに入れた上で、今、狛江市では日本一安心して安全なまちづくりを実現していこうじゃないか、そういうことを取り組んでいるということも皆さんの頭の片隅に置いてもらえればありがたいなと思います。

皆さん、ほとんど6年生ですかね。公職選挙法も改正されましたので、あと6年ぐらいたつと選挙権を皆さん持つことになります。今日の子ども議会を通じて、狛江市のことをもう少しよく見てみよう、それだけではなくて、選挙権の対象というのは、都議会議員選挙もあれば国会議員選挙もあるわけですから、東京都のことも、国政のことも、これから少しだけでも意識しながら考えていってくれるきっかけになればいいなと思います。

今日は、皆さんを議員さんとして扱います。何々議員とみんなに呼んでもらいますので、そのつもりになってください。こうやって質問に答えてくれるために前に並んでいる人の顔を見ると、あまり人相のいい人はいないんですけど、そんな怖い人はいませんので、先ほど小川議長からもありましたように、まだかたい人がいますけど、あまりかたくなる必要もありませんので、皆さん、しっかり質問してみてください。

では、どうぞよろしくお願いします。

- 議 長（古神子 匠議員） 本日の子ども議会の日程は、お手元に配付してあるプリントにより進めます。
-

- 議 長（古神子 匠議員） 最初に日程第1 座る場所の指定をします。
座る場所については、本日席に配ってある表のとおりとします。
-

- 議 長（古神子 匠議員） 次に日程第2 子ども議会の会期は、本日1日としたいと思いますが、よろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

- 議 長（古神子 匠議員） それでは子ども議会の会期は本日1日と決定します。
-

- 議 長（古神子 匠議員） 次に日程第3 一般質問を行います。

質問時間については公平性を確保するため、議員1人当たり3分以内とさせていただきます。

なお、質問する場合には演壇に出て質問していただきたいと思います。

それでは、事前に提出されております質問通告のとおり順番に質問をお願いします。

1 番中野詩織議員。

〔1 番 中野詩織議員登壇〕

- 1 番（中野 詩織議員） 狛江第一小学校、中野詩織です。私は、2つ提案があります。

1 つは、校庭にある遊具についてです。

今ある遊具は低学年がほとんど使っており、高学年は遊具で遊べません。ですから、遊具を増やしてほしいと思っています。

そこで提案ですが、アスレチック遊具を設置するのはどうでしょうか。現代の子どもたちは体力が低下していると言われていますが、高学年でも気軽に遊べるアスレチック遊具があれば体力向上にも役立つと思います。

ちなみに、今年私のクラスでは、スポーツテストでAがついた人は誰もいないという結果でした。そんなクラスのみんなに、もしアスレチック遊具があればそれで遊びたいと答えた人は33人中33人でした。校庭が無理なら、近くの公園でもいいと思います。子どもたちや市民が気軽に遊べるアスレチック遊具を校庭や公園に設置してはどうかというのが最初の提案です。

もう1つの提案は、電子黒板とタブレット端末についてです。

今、私たちは、電子黒板の映像を見ながら授業を受けたり、タブレット端末で調べ学習をしながら勉強をしています。現在、電子黒板は低学年、中学年、高学年で1台ずつ、タブレット端末は全校で40台です。ですから、移動が大変です。また、タブレット端末で調べ学習をするのに予約するのも大変です。

600人でタブレット端末40台は少ないかとは思いますが、また、電子黒板は廊下の端に置いてありますが、使う際にいつも先生がガラガラ押して持っていきます。そして、コードを接続したりパソコンを起動させたりして、準備や後片づけに時間がかかります。一小は廊下が長いので、反対側の端から教室に運ぶときはもっと時間がかかります。



そこで提案です。電子黒板を各教室に設置してはどうでしょうか。また、タブレット端末の台数を増やしてほしいと思っています。とてもお金のかかることなので難しいと思いますが、授業でよく使うものなので、少しでも便利になるといいと思います。

以上で私の提案を終わります。よろしくお願いします。

- 議長（古神子 匠議員） 教育部長。
- 教育部長（小泉 一夫君） それでは、1つ目の質問についてお答えをいたします。
確かに校庭に新しくアスレチック遊具を置けば、遊びが楽しくなり、皆さんの体力の向上につながるかもしれません。しかし、校庭に新しいアスレチック遊具を置く分、校庭も狭くなり、例えば体育の授業や運動会などに影響をきたすことなども十分考えられます。こうしたことから、校庭へのアスレチック遊具の設置は難しいと考えております。
- 議長（古神子 匠議員） 環境部長。
- 環境部長（真田 典孝君） 中野議員の質問にお答えいたします。

公園につきましては、広く一般に開放され、誰でも自由に利用できる場所として、様々な人たちの期待に応えられるよう、滑り台などの遊具やベンチなどを設置してお

ります。

アスレチック遊具につきましては、対象の年齢や用途によって様々な種類がありますので、その種類によって、公園のスペースや、あるいは利用状況などに影響を及ぼしてくる場合があります。また、設置するにあたっては、安全確保の観点から十分な広さや怪我の防止のための対策が必要となります。これらのことを踏まえた上で、今後様々な角度から慎重に検討する必要があると考えております。

○ 議長（古神子 匠議員） 教育長。

○ 教育長（有馬 守一君） 中野議員の第2問目の質問にお答えをいたします。

各学校を回りまして、電子黒板やタブレットの端末などのICT機器がたくさん授業で活用されているのを見まして、とてもうれしく思っています。実際に使用している小学生の人たちからも、タブレットを使った授業はとてもわかりやすいし、集中ができる、あるいは、動画や写真を使って発表するときなどはとてもわかりやすく説明できるというように、色々ないい意見が聞かれます。

これからのことなんですけれども、さらにたくさんの機械、皆さんにICT機器を活用していただくために、現在どれぐらいの割合で授業で使われているんだろうか、あるいは、どんな効果、成果が出ているんだろうか、それから、もっと活用してもらうためには、あとどんな整備が必要なんだろうかと、こういったことを各学校の先生方にも伺いながら、台数などを計画していきたいと考えています。

○ 議長（古神子 匠議員） 2番園田さやか議員。

〔2番 園田さやか議員登壇〕

○ 2番（園田 さやか議員） 狛江第一小学校、園田さやかです。

1つ目の質問は、ふるさと納税についてです。

最近、ふるさと納税という言葉をよく耳にします。ふるさと納税とは、特定の自治体へ寄附をすると寄附金控除が受けられ、さらにお礼として、その自治体から地元の特産物などを送ってもらえることがある制度のことです。

ここで質問なのですが、狛江市ではふるさと納税を実施していますか。もし実施しているならば、特典はありますか。それはどのような特典ですか。また税収はどのぐらいですか。やっていないのならやってみてはどうでしょうか。ふるさと納税をすれば、寄附をした人は寄附金に応じた特産物がもらえ、一方、自治体は日本全国へ向けた地元アピールをすることができるという

利点があります。狛江市には枝豆を初めとした農産物や多摩川などの豊かな自然があります。狛江市をアピールするよい機会だと思います。

2つ目は要望です。一小夏祭りについてです。



これは、毎年7月下旬に一小の校庭で行われるお祭りですが、盆踊りのやぐらのほか、フランクフルト、焼きそば、かき氷、ジュース、綿あめなどのお店が出ています。私は毎年、このお祭りへ行っていますが、お店が少なく、もう少し増えたらよいと思っています。お店の数が増えれば夏祭りに参加してくれる人も増えてにぎやかになり、今までよりもっと楽しくなると思います。ですから、射的屋などの遊べるお店や食べ物のお店を増やしてほしいです。

以上で質問と要望を終わります。よろしくお願いします。

○ 議 長（古神子 匠議員） 市長。

○ 市 長（高橋 都彦君） ただいま園田議員から、ふるさと納税の質問をいただきました。

狛江でも、このふるさと納税に当たるものとして、こまめ応援寄附金という制度を持っています。大体昨年度の実績でいうと13件、160万円位が寄附金としてもらっています。

本当に狛江の中で、全国に向けて魅力的なものがあれば、そういったものをふるさと応援寄附金のお礼として差し上げることができるんですが、まだなかなかいいものができていないというのが実情です。枝豆などのお話もありましたけれども、それも季節物であって、狛江農業の場合は、どうしても多品種少量生産ということもあって、それをお礼にして、ちゃんと賄えるだけのものができるかどうかという1つの不安もあったりして、なかなかそこまではいっていないんですけど、現在では、オリジナルのタオルを配ったり、それから、狛江市観光協会が推奨しているお菓子だとか、そういった和菓子や洋菓子、そういったものを選んでお礼として差し上げています。

何でもその対象にできるということで、全国的に少し加熱気味になっている所もあります。例えば、ふるさと応援寄附金として1万円寄附してもらったとすると、そのうちの2,000円分は経費としてどうしてもなくなってしまうわけですが、残りの8,000円のうち、ある市では、その市だけで使える商品券を出したりして、かなりの数を渡している所もありますけど、ところが、本来の趣旨を超えて、その商品券自体が売買の対象になってしまったりとか、非常に困った事態になっているような事例があるのも確かです。やはりふるさと納税にふさわしいようなものというものをちゃんと考えるようにというのが、今、総務省のほうから渡されている通達の中にもあるぐらいですので、狛江の中ではどういうものかということ、今年から試行的に始めているものとして、狛江の農業というのは多品種少量生産ながらも本当においしい野菜ができる。その農業と、それと人口の中に約4分の1を占める高齢者の人たちを結びつけて、シルバー人材センターという所でいろいろな生きがいの就労に就いていただく方を結びつけるようなものとして、できた農産物をみずから収穫してもらって、そして、その収穫してもらったものを持って帰ってもらう、そういうような試行を今始めたところです。

今年の年末近くになったら、今度は大根を抜いてもらって、抜いた大根を持って帰ってもらう。それを、このふるさと納税の対象にしようという試行を始めたところで

す。狛江にふさわしいようなふるさと納税制度というものを今開発中なので、皆さん、期待して待っていてほしいと思います。

○ 議 長（古神子 匠議員） 児童青少年部長。

○ 児童青少年部長（松坂 誠君） 2問目の質問についてお答えいたします。

毎年7月下旬に一小の校庭で行われる夏祭りということなので、今年は、つい先日の7月28日に行われました松原青年会盆踊りのお祭りのことだと思います。

このお祭りは、地域の松原青年会が中心となり、学校PTA、さらに多くの地域の人たちが協力をしまして、皆さんにお祭りを楽しんでもらおうと頑張ってくださいっております。

お祭りにさらにお店を増やすには、もっと多くの人たちの協力が必要となってきますが、園田議員も、ぜひお家の人たちや近所の松原青年会の人に相談してみてください。地域に相談して、地域に応援してくれる人がさらに増えれば、お店も増やせるかもしれません。みんなで地元のお祭りを盛り上げていきましょう。

一小で行われる、このお祭り以外にも、狛江市にはこういったお祭りがたくさんあります。狛江市は日本で2番目に小さい市ですが、だからこそ、隣近所の顔と顔が見える関係ができ、地域の結びつきの強さにつながっています。子ども議員の皆さんも、大人になったら地域のことを考えて行動のできる人になってください。

○ 議 長（古神子 匠議員） 3番吉川理捺議員。

〔3番 吉川理捺議員登壇〕

○ 3 番（吉川 理捺議員） 狛江第一小学校の吉川理捺です。

1つ目の提案は、街灯をLEDライトにしてはどうかということです。

現在、小学生が犠牲になったり巻き込まれる事件や事故が年々増えています。また、そのほとんどが学校の帰り、習い事の帰りなどに起きています。これらの点から、私は、街灯が原因の1つではないのかと考えました。

特に街灯の電気が消えそうだったり、電球が切れたりしているなど、冬などは暗いのにもっと暗くなると思います。それに、LEDライトのほうが明るく電気代も安いし、寿命も長いので効率がいいと思います。そこで、狛江市の街灯をLEDライトにしてはどうかということが私の1つ目の提案です。

2つ目は、校庭の芝生化についての質問です。

他の学校の友達から聞いたのですが、芝生が校庭にあると、そこで遊んだり寝転んだりできるそうです。走って転んでも痛くないそうです。また、運動会前などは組み体操の練習が安全にできるそうです。万が一落ちた場合でも、芝生があるため安全で



よかったと言っていました。私は、それを聞いてうらやましいなと思いました。それに、緑が増えれば地球にも優しいのではないのでしょうか。校庭全部が難しければ、部分的にどこか1か所でもあるといいです。

でも、校庭を芝生にするには、とてもお金がかかるのでしょうか。また、芝生の手入れをするのは大変だとも聞きますが、どういう点が大変なのでしょう。芝生の校庭には憧れますが、今、全部の学校が芝生化されていないというのは、やはり問題点があって難しいからなのでしょう。教えていただけるとありがたいです。

以上で提案と質問を終わります。よろしくお願いします。

○ 議長（古神子 匠議員） 市長。

○ 市長（高橋 都彦君） それでは、吉川議員の第1問目の質問にお答えしたいと思います。

LEDは確かに明るくて、電気代も安いし寿命も長い、いいところだらけのように思います。ただ、中には、明るすぎて、もう少し何とかならないかという苦情を受けることもあります。最近の技術が進んできているので調整できるようになっているようですので、そういったことから、市内には街路等が4,500ありますけど、今、市でも徐々に普通の電灯からLEDに切りかえつつあります。今ようやく700までいったところですよ。市の財政状況等を考えながら、徐々に切りかえていきたいと思っています。

ただ、道によっては、特に畑がある所、そういった所には農産物に対する影響も考えないといけません。農産物に向けてあまり光をあてると、農産物の生育に影響を与えるような所もあるので、そのあたりはやっぱり工夫していかないといけないかなと思っていますけど、ご提案のように、徐々に狛江の街路等はLEDに切りかえていこうと思っていますので、よろしくお願いします。

○ 議長（古神子 匠議員） 教育部長。

○ 教育部長（小泉 一夫君） それでは、2つ目の質問についてお答えをいたします。

吉川議員の質問にあったとおり、学校の芝生化は、校舎の壁面の緑化や屋上の緑化とともに、教育環境の向上や環境保全、地域コミュニケーションの充実など、いろいろな目的を達成するために取り組んでいるものでございます。

しかし、その一方で、芝生を設置・維持していくためにはお金と手間がかかります。特に芝生をいつもきれいに維持するためにはとても多くの手間がかかりますので、地域の皆さんの協力も欠かせません。他の学校にも芝生を広げていきたいとは考えていますが、手入れが行き届かず芝が枯れてしまうようなことがあってはいけませんので、慎重かつ段階的に行っていく必要があると考えています。

○ 議長（古神子 匠議員） 4番石松夏葉議員。

〔4番 石松夏葉議員登壇〕

○ 4番（石松 夏葉議員） 狛江第三小学校、石松夏葉です。

1つ目の質問は、家庭科室のテーブルについてです。

家庭科の授業で調理実習をすることがありますが、今の家庭科室のテーブルには流しがついていません。なので、調理の時や片づけの時には別の所にある流しへ行かな

ければなりません。その際、床に水がこぼれて滑りやすくなったり、食器を落としてしまったりすると危険です。グループごとに流し台があると調理も片づけも便利ですし、家庭科をしっかり勉強できると思います。家庭科室のテーブルを流し台があるものに変えていただくことはできませんか。

2つ目の質問は、校舎のエレベーターについてです。

三小にはエレベーターがありません。もちろん、ふだんは小学校にエレベーターは必要ないと思います。しかし、怪我をして階段を昇り降りすることが大変な生徒がいます。例えば、骨折をしてしまって松葉づえの生徒が3階の教室に行くのはとても大変です。また、音楽集会で使用する大きな楽器を体育館に運ぶ際、階段を使って運ぶのは大変です。なので、エレベーターがあるととても助かります。

しかし、エレベーターには危険な面もあるので、誰でもいつでも使えるのではなく、必要な人がいるときだけ使用するようにしたいと思います。三小にエレベーターをつけていただくことはできませんか。



以上で質問を終わります。よろしくお願いします。

○ 議長（古神子 匠議員） 教育長。

○ 教育長（有馬 守一君） 1 番目の質問にお答えをいたします。

確かに家庭科室の全てのテーブルに流し台がついているということでありまして、便利なだけではなくて危険も減って授業に集中することができるようになる、そういうふうには思います。

しかしながら、家庭科室の広さの問題が1つありますね。それから、今の家庭科室には、テーブルがある所に水道管とか排水管がついていないという問題があります。この流し台のついたテーブルに変えるには、大きな工事が必要になるということです。しばらくの間、家庭科室が使えなくなったり、多くの費用がかかったりするという問題もございますので、すぐに流し台のついたテーブルに変えるということは難しいかもしれませんけれども、緊急性とか、それから必要性、それからお金の問題なんかも踏まえまして、どのように導入できるかということを検討していきたいなと思っています。

○ 議長（古神子 匠議員） 教育部長。

○ 教育部長（小泉 一夫君） それでは、石松議員の2つ目の質問についてお答えをいたします。

現在、市内の小学校のうち、半分以上が校舎にエレベーターは設置をしておりません。確かに怪我をしている人や重いものを運ぶときにエレベーターがあったほうが便

利であることは間違いないと思いますが、その反面、先日も埼玉県由市立中学校のエレベーターで痛ましい事故があったように、エレベーターを使う際は、皆さんがそれぞれ注意して使う必要があります。

また、エレベーターを設置するには、とても多くのお金がかかります。すぐに全校にエレベーターを設置することはとても難しい現状ですので、怪我をしている人の移動や、重いものを運ぶときには、友達と協力したり、先生を初めとした大人に協力をお願いしてください。

○ 議長（古神子 匠議員） 5 番宮澤一真議員。

〔5 番 宮澤一真議員登壇〕

○ 5 番（宮澤 一真議員） 狛江第三小学校の宮澤一真です。

1 つ目の質問は、歩きたばこについてです。

最近、外を歩いていると、よく歩きながらたばこを吸っている人がいて迷惑です。そのような歩きたばこは危険だし、環境によくないと思います。また、歩きたばこはたばこのポイ捨てにもつながってしまうので、いけないと思います。そして、何よりも道を歩いている人までたばこの煙を吸ってしまい、たばこを吸っていない人も肺が汚くなってしまい健康によくありません。

そこで質問です。

狛江市は、歩きたばこをなくすように何か対策をしていますか。教えてください。

2 つ目は、「音楽の街狛江」についての質問です。

最近、エコルマホールでの連合音楽鑑賞教室で東京都交響楽団の演奏を聞いたり、学校でプロの方の歌や演奏を聞けたりと、とても音楽に触れ合い親しめる機会があり、音楽がもっと好きになれることができたので、とてもよかったです。

狛江市は音楽のまちづくりを目指していると聞きました。そこで質問です。

狛江市では、小学生向けの活動のほかに、どのような音楽に関する活動をしていますか。また、「音楽の街狛江」を他の市区町村に P R するなどの活動をしていますか。教えてください。

以上で質問を終わります。

○ 議長（古神子 匠議員） 環境部長。

○ 環境部長（真田 典孝君） それでは、1 問目の宮澤議員の質問にお答えいたします。

狛江市では、平成27年4月1日から、狛江市路上喫煙等の制限に関する条例を施行しております。この条例を施行することで、歩きたばこなどの路上喫煙の規制や、あ



るいは分煙の徹底などマナーアップに取り組んでおり、駅周辺の重点地区におきましては、喫煙防止を目的にした監視員による巡回も行っています。その他に、市民の方々の自宅の前に掲示できる禁煙プレートや周知用うちわなどの配布、また小・中学生を対象とした路上喫煙マナーアップポスターコンクールを開催するなど、様々な方法で周知・徹底を図り、路上喫煙の規制を推進してまいりたいと考えております。

○ 議 長（古神子 匠議員） 市長。

○ 市 長（高橋 都彦君） では、音楽のまち事業についての宮澤議員の質問にお答えしたいと思います。

先ほど質問の中にありましたように、アウトリーチといって、小学校を訪ねてプロの演奏家が演奏する、そういったことも授業の一環として今やっているところですが、それ以外にも、見たことがあるかもしれませんが、駅前の噴水の所でコンサートをやったり、それから、市役所のロビーなんかでもコンサートをやったりします。あるいは、福祉施設を訪ねて行ってエリアコンサートというのも今やっているところですが、来年の4月24日、日曜日なんですけど、その日に、私が11年前に総合プロデューサーを務めて、今日本でも、日本を代表するような音楽祭になっているラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン「熱狂の日」音楽祭といいますけれども、今、有楽町の丸の内の東京国際フォーラムを中心に、ゴールデンウィークの時期には7, 80万人の人を集めるコンサートになっているわけなんですけど、大半がクラシックなんですけど、0歳からお年寄りまで楽しめるコンサートとして工夫されているものです。そういったものを、私との縁で、今度その一部を狛江市に持ってくることに決まりました。それが来年の4月24日なんですけど、それ以外にも、市内にはほとんどプロと言っても差し支えないぐらいの演奏家の方々がたくさんいらっしゃいます。そういった方々にも参加してもらって、街中を音楽であふれ返らせたい。クラシックだけでなくジャズでも、あるいは邦楽でも、いろいろなジャンルのものをその日に集めてやりたい。できれば、23日土曜日を押さえてありますので、その日も隠れた演奏家を引っ張り出して、引っ張り出してと言ってしまうのが悪いんですが、出てきてもらって、演奏家も楽しめる、それから聞く人も楽しめる、子どもからお年寄りまで楽しめる、そういった音楽があふれ返るまちに、来年の4月23, 24日はしたいと思っているので、期待してほしいと思います。

○ 議 長（古神子 匠議員） 6番渡辺琴美議員。

〔6番 渡辺琴美議員登壇〕

○ 6 番（渡辺 琴美議員） 1つ目の質問は、学校のプールについてです。

今、学校の体育の授業のプールは、子どもたちの学年に合わせてプールの水を増やしたり減らしたりしながら安全に授業を行っています。ですが、水道代がかかってしまい、水をたくさん使うということは節水にもなりません。そして、時間もかかるので、毎回子どもの学年に合わせて水を増やしたり減らしたりしていると大変です。

そこで、プールの床を可動式にしたらいいいと思います。可動式にすると、毎回水の量を増やしたり減らしたりする必要がなくなるので節水にもなるし、床の部分が自動

で上がったり下がったりしてくれるので、今のやり方よりも時間がかからなくなるので時間短縮にもつながります。なので、いいと思うのですが、市としてはどのように考えていますか。

もう1つの質問は、市民プールについてです。

市民プールは、たくさん子どもに人気があります。私のクラスで実際に市民プールに行ったことがあるかと聞くと、32人中27人もの人が市民プールを利用したことがあることがわかりました。そして、市民プールにどんなものがあるとまた利用したくなるかと聞くと、ウオータースライダーと声が上がりました。

また、私のようにプールが苦手な人もいます。そんな人たちは、流れるプールや波のプールがあると、流れに乗って水になじみやすいので、新しくできると助かります。

あと、プールの水が深過ぎたり浅過ぎたりするので困るという声も多く上がっているので、小学生にちょうどいいぐらいの深さにしてほしいのですが、市としてはどのように利用者を増やす予定ですか。



これで質問を終わります。ありがとうございました。

○ 議長（古神子 匠議員） 教育長。

○ 教育長（有馬 守一君） それでは、渡辺議員の1問目にお答えをします。

学校のプールの大きさ、広さにもよるんですけど、このプール1杯分の水道代というのは、やっぱり30万とか40万とかという、これがかかっていることは確かであります。

学校のプールに自動で上がり下がりする床をつけたらどうかというご提案ですけども、その設備を整えるにはもっとお金が、多額のお金がかかってくるんですけど、子どもたちの安全とか節水の面ではよい提案だと思います。これから費用の比較とか、あるいは本当にそれを入れたときに問題がないのかどうかということも今後検討していきたいと思っています。

ただ、1杯のプールの水なんですけれども、これは、実は排水管が校庭にあるスプリンクラーにつながっていて、そして、ほこりが立たないように校庭をいつも湿らせる、そういう働きもする水として再利用しているということは、ちょっと頭に入れておいてください。

○ 議長（古神子 匠議員） 教育部長。

○ 教育部長（小泉 一夫君） それでは、渡辺議員の2つ目の質問についてお答えをいたします。

この質問をするに当たり、クラスの人に市民プールに行ったことがあるか、どんな

ものがあるとまた利用したくなるかを調べていただき、ありがとうございます。

提案していただいたように、市民プールに流れるプールや波のプールがあったらもっともっと楽しくなると思います。しかし、狛江市には市民プールが1か所しかなく、残念ながら今の場所では流れるプールや波のプールをつくる広さがありません。また、今、新たに2か所目の市民プールをつくる予定也没有ありません。

市民プールの水の深さは、小学生だけではなく、多くの方が利用されるため、1.1メートルから1.42メートルになっていますので、小学生の皆さんは安全な深さの場所を利用してください。

市民プールの利用者を増やすために、去年は水中パフォーマンス集団によるショーを行いました。今年は4期に分けて水泳教室を開催しています。水に慣れるための教室や、クロール、平泳ぎの教室があります。教室に参加していただき、水に慣れ、より泳げるようになっていただき、今後も市民プールを利用してください。

○ 議長（古神子 匠議員） 7番高橋里奈議員。

〔7番 高橋里奈議員登壇〕

○ 7番（高橋 里奈議員） 狛江第五小学校の高橋里奈です。

1つ目の質問は、狛江の自習室についてです。

今、狛江市には中学生から使用できる自習室が中央図書館に1つあります。ですが、この自習室は、私たち小学生は使用することができません。小学生の中にも、家で学校の宿題や通信教育の教材などを解いていても、テレビやパソコンがあり集中できない人がいます。家以外の場所で勉強したいと思っても、小学生が使用できる静かな場所がありません。

そこで、自習室を小学校高学年から使用することができるようにすることを提案します。小学校高学年になると、自習室のような静かな場所で静かにすることができると思いますが、調べ学習もふえてきて、図書館の本で調べることができるからです。小学生でも図書館の自習室を利用することはできませんか。

2つ目の質問は、狛江市の公園についてです。

現在、狛江市には小さな公園がたくさんあり、大きな公園も少しあります。ですが、そのたくさんある公園では遊ばずに、市役所の駐輪場などで遊んでいる人をよく見かけます。

そこで、狛江市の公園で遊びのイベントなどを増やすことを提案します。公園に行って少人数で遊んでいても楽しくないことがあります。なので、子どもから大人まで楽しめる公園で遊ぶイベントをつくってほしいと思いました。そうすれば、たくさんの人で楽しい遊びをすることができるし、体も動かせるし、お年寄りの方も気軽に参加することができ、狛江市がもっと楽しいまちになると思ったからです。



以上で質問を終わります。よろしくお願いします。

○ 議 長（古神子 匠議員） 教育長。

○ 教育長（有馬 守一君） それでは、1問目の質問にお答えをします。

中央図書館には読書調査室というのがありますけれども、ここには百科事典、あるいは国語辞典のほかに、新聞、電話帳、専門的な辞典類がたくさん置いてあるんですね。この部屋には、こうした図書館の資料を使って調べ物をするための座席が用意されているんですけれど、自習室として勉強道具を持ち込んで使える所ではないんです。

一方、貸出室の子どもの本のコーナーには子どもが優先的に使える座席があって、ここには読書や調べ物をするのに自由に使えますけれども、限られたスペースですから、譲り合って使っていただきたいなと思っています。

また、市民センター全体の中には、地下1階と2階のオープンスペースに座席を用意してありまして、勉強など誰でも自由に使えるようになっています。さらに、市内には4か所、地域センターというのがありますが、それから西河原公民館もあります。こういう所では、その一部に共用スペースがあって、勉強にも使えるようになっていますから、ぜひ活用してください。

○ 議 長（古神子 匠議員） 環境部長。

○ 環境部長（真田 典孝君） それでは、高橋議員の2つ目の質問にお答えします。

公園は誰もがいつでも自由に過ごせる場所として、多くの人たちがいろいろな目的を持って利用しています。そのため、広く一般に開放された公園でイベントを行うにあたっては、市に許可をとる必要がございます。ただし、許可を得るにあたっては、危険のおそれがある行為をしないことや、あるいは騒音などで近隣の方々に迷惑をかけることなど、一定の条件を満たすとともに、日頃から公園を利用している人への配慮も必要となります。

こうしたことを踏まえ、現在、冒険遊び場など幾つかのイベントが開催されています。これからは、イベントの案内が十分皆さんに伝わるようにイベントの主催者に働きかけるとともに、イベント主催者が円滑に主催できるよう、環境整備に努めてまいります。

○ 議 長（古神子 匠議員） 8番橋本千花議員。

〔8番 橋本千花議員登壇〕

○ 8 番（橋本 千花議員） 狛江第五小学校、橋本千花です。

私には、やってみたいことが2つあります。

1つ目は、学校対抗のスポーツ大会です。各学校で何か1つの目標に向かって取り組むと、学校での団結力が深まると思いますし、それをきっかけにスポーツも盛んになるのではないかと思います。

5月に狛江市主催で行われたスポーツイベント、チャレンジデーでは、狛江市の参加率が18%なのに対し、対戦相手の柏原市の参加率は68%でした。この結果から見ると、狛江市はこういったイベントへの参加意欲が低いのではないかと思います。

そこで、それよりは少し規模は小さくなりますが、まずは私たち小学生から狛江市

を盛り上げていくというのはどうでしょうか。長縄跳びや水泳大会など、学校対抗で競い合うのです。

2つ目は、学校の校庭を利用した夏のお泊まりキャンプです。

校庭にテントを張って、みんなでバーベキューをしたりゲームをしたりしてみたいです。夜には花火や肝試しをして、いろいろな学年の人たちと楽しみたい。夜の校舎内に入るのは少し不気味ですが、私は経験したことがないのでわくわくします。お父さんやお母さんにも協力してもらって、大人も子どもも一緒になって盛り上がりたいです。校庭にテントを張って泊まることや火を使うことはできませんか。



以上で質問を終わります。

- 議長（古神子 匠議員） 教育部長。
- 教育部長（小泉 一夫君） それでは、橋本議員の1つ目の質問についてお答えをいたします。

何か1つの目標に向かって取り組むことはとても素晴らしいことだと思います。今年5月のチャレンジデーは初参加でした。対戦結果は残念でしたが、たくさんの方に参加していただきました。次に向けてさらに多くの方に参加していただけるようにしていきたいと思っています。

現在、小学校単位の小対抗戦は行われていませんが、今年は小学校を対象としたビーチボールやバドミントン、女子フットサル教室、バスケットボール、卓球、ヒップホップ教室等を開催しております。また、綱引き大会も毎年2月に行われます。綱引き大会は、毎年小学生がチームをつくって大勢参加し、楽しく競い合っています。他の学校の人たちとの交流の場にもなっているようです。

学校対抗スポーツ大会のすぐの実施は難しくても、こうしたスポーツ教室や、大会を通してスポーツをする機会を増やし、狛江市を盛り上げてください。

- 議長（古神子 匠議員） 副市長。
- 副市長（水野 穰君） それでは、橋本議員の2つ目の質問についてお答えを申し上げます。

橋本議員が言われましたように、学校でキャンプをしてバーベキューや、五小の芝生の上で寝転がれたらとても楽しそうだと思います。実現したら私もやってみたいと思います。

しかしながら、学校の校庭にテントを張って泊まることや火を使うことは簡単にできることではないんです。例えば、橋本議員が通う五小では、夏祭りで小菅村のヤマメを一斉に焼く催しがあります。そのためには、消防署に相談して協力を得て、さらに、当日ヤマメを焼いてくださる方々が、万一火災になったときの対応を考えてくだ

さっております。近所の方々にも周知をしているところでございます。

このように、こうした催しは学校や市だけで決められるものではなく、多くの人々の協力をいただかないと実施することは難しいイベントだと思っております。ただ、学校や地域の育成委員会の方々には、こういったご意見をいただいたということはお伝えしてまいりたいと思っております。

○ 議長（古神子 匠議員） 9番武藤舞唯議員。

〔9番 武藤舞唯議員登壇〕

○ 9番（武藤 舞唯議員） 狛江第五小学校の武藤舞唯です。

1つ目の質問は、狛江市が日本で有名になるために、私たち小学生ができることです。

狛江市は、日本ではあまり有名ではないけれど、私は生まれ育った狛江市が大好きです。狛江市が有名になるためには、狛江市以外の人たちが遊びに来てくれるようなまちになればいいと思います。

昨年、私は徳島県の阿波踊りを見に行きました。全国からのたくさんの観光客が集まって、とても楽しいお祭りでした。そのような活気のあるまちにするためには、市民の皆さんが踊りを提案して、その踊りを狛江市の1年の行事にして踊るといいと思います。観光大使を小学生の私たちが務めて、狛江市のいいところや行事などを狛江市以外の小学生に新聞で伝えと、今よりもっと明るくていいまちになると思います。狛江市をもっと盛り上げて楽しいまちにするために、狛江市はどのようなことをしているんですか。

2つ目の質問は、明るく楽しい狛江市になるためにについてです。

ある小学校では、お年寄りの方々が小学生や地域の人たちに昔の遊びや勉強を教えてあげたり、クラブ活動などを通して交流をととても深めている小学校があります。狛江市では、あまり地域の方々や小学校同士の交流がないので、その学校の地域の人たちとふだんの授業を一緒に受れたり、小学生ならではの遊びを楽しんだりしたら、地域の人たちの交流も深まると思います。

そして、小学生同士では、毎年ミニ運

動会を開いたり、狛江市で何か1つの課題を決めて、その課題に一番あてはまっている小学生を決めたりしたら狛江市も楽しくなると思います。狛江市ではどのようなことを考えていますか。

以上で質問を終わります。よろしくお願いします。

○ 議長（古神子 匠議員） 市長。

○ 市長（高橋 都彦君） それでは、武藤議員の質問にお答えしたいと思います。



狛江市が日本でもうちちょっと有名になるような方策はないのかということですが、狛江市では実は、狛江市を売り込むための計画をつくりました。今年から狛江市シティセールスプランというものをつくって、様々な活動を始めたところです。

今年は、ちょうど狛江が町から市になって45周年に当たるということもあって、1月から様々な催し物を展開しています。1月の初めの日曜日、2番目の日曜日だったか、行いました初春まつりというのは、これまでばらばらにその日にやっていた催し物を1か所に集めたらどうなるのかなということをやったんですけど、その催し物というのは、どんど焼きであったり、多摩川を走るロードレースであったり、それから消防団の出初式、それぞれが見ごたえのあるものなんですけど、それを1か所に集めてやったところ、ばらばらにやったときに比べて3倍の人たちが集まってくれました。多摩川の河川敷に、まだ寒い時期ではありましたが、6,000人の以上が集まってくれた。だから、今まである催し物を見直すだけでも1つの他の市民の人たちにアピールできるようなこともできるのではないかなということと、新たにつくり出したものもあります。4月にやりました桜まつりなどもそうです。今まで、桜の名所があるのに、なかなか1か所というか、特定の場所で桜の花見をする場所もなかったところ、夜の夜桜を楽しんだり、それから、桜まつり当日には、多少小雨模様でありましたけれども、1万人の人たちが集まってくれるぐらいのお祭りもできるんだということがわかりました。

今週の水曜日、8月5日には5年ぶりの花火大会をやりますけども、これも初めて対岸の川崎市とコラボレーションができることになって、対岸と結んで、最近あまり行われなくなったナイアガラといって、狛江市側から川崎市側に向けてナイアガラの滝のような花火などもその日には行います。今までで最大規模の花火大会になると思いますので、皆さん、ぜひ期待してほしいと思いますけども、そういったようにいろいろな催し物、あるいはいろいろな魅力をつくり出す、特産物などもつくり出す、そういったことを含めて、もう少し盛り上げていけば、他の市からも注目されるようになるんじゃないかなと思います。

先ほど橋本議員からの質問の中にありましたように、チャレンジデー、確かに参加率は低かったんですけども、でも、1万5,000人の人が集まってくれたということは、すごく狛江市にとっては画期的なことだったと思います。

それから、ラジオ体操も、NHKがやるラジオ体操、夏季のラジオ体操も、一中のグラウンドを埋め尽くすぐらいの1,700人の人が集まってきて、ラジオ体操をみんな楽しんでもらった。いろいろな工夫をすれば、狛江市自体が元気になるのかなと思いますので、そういったことも頑張ってみたいと思います。

それから、ご提案にあったように、小学生の皆さんが一人一人観光大使になってくれれば、もう少し盛り上がるのかなと思いますので、よろしくお願ひしたいです。

○ 議長（古神子 匠議員） 市民生活部長。

○ 市民生活部長（榎本 正樹君） 武藤議員の2問目の質問にお答えいたします。

地域のコミュニティとして、小学校と地域がもっと連携したほうがいいというご質問ですが、現在、市内には4つの地域センターがあります。各地域センターでは、運営協議会の方が地域に密着した様々な事業を行っています。野川地域センターでは、昔遊びの遊べるカタログ、上和泉地域センターでは夏休み親子工作教室、岩戸地域センターでは夏休み子ども料理教室、南部地域センターでは七夕会やクリスマス会など、小学生等を対象とした事業も実施をしています。地域での交流をここで図っております。

なお、平成26年10月からは、サークル団体をインターネット上で検索できるこまなび電子版を開設し、地域でのサークル活動の参加を促進しています。

○ 議長（古神子 匠議員） 児童青少年部長。

○ 児童青少年部長（松坂 誠君） 皆さんに身近でいろいろな年代の人たちが交流できる施設としては、他に和泉児童館と岩戸児童センターの2か所の施設があります。児童館は、乳幼児から高校生までが利用できる施設ですので、大きなイベントなどが開かれるときには、大人も含め、いろいろな年代の子どもたちと交流することができます。

また、学校へはチラシを配布しているのでご存知かもしれませんが、全小学校で実施しているK○K○Aのイベントとして、地域の方々と協力しながら、昔遊びやビーチボール教室、それから科学教室、お餅つき大会等を行っています。

その他にも、狛江市では中学校区域に4つの青少年育成委員会があります。武藤議員の第五小地域ですと、第1育成委員会と第4育成委員会があります。各育成委員会は、皆さんが楽しめるように、地域の方や違う学年の子どもたちが交流できるよう、様々なイベントを企画し、開催をしています。今年度は小学生を対象とした手づくり教室や、親子で参加できるヨガ教室等を予定しています。機会があれば武藤議員もそのような地域交流にぜひ参加してください。

○ 議長（古神子 匠議員） ここでしばらく休憩します。約20分間です。

午前10時07分 休憩

午前10時25分 開議

○ 副議長（中野 詩織議員） 休憩前に引き続き会議を開きます。

議長職を交代します。

副議長の狛江第一小学校の中野詩織です。よろしくお願いします。

一般質問を続行します。

10番佐藤佳亮議員。

〔10番 佐藤佳亮議員登壇〕

○ 10 番（佐藤 佳亮議員） 狛江第六小学校の佐藤佳亮です。

1つ目の質問は、狛江か和泉多摩川駅に急行が停まってほしいことです。



なぜなら、急いで遠くに行かなければならないときに、急行があったらとても便利だからです。もし急行が停まったら観光客が少しでも増えると考えたからです。

僕の兄は遠い中学校に行っています。急行に乗らないと間に合わないので、いつも登戸に行ってから乗ります。そして、僕も時々新宿などに行かなければならないときに、成城学園前まで行くのに時間がかかり、遅れてしまうこともあります。こんな時に急行があったらとても便利になり、観光客も増え、狛江市がとても豊かなまちになると思います。何とか狛江か和泉多摩川駅のどちらかに急行を停めて便利にすることはできませんか。

2つ目の質問は映画館です。

なぜなら、いざ映画を観に行こうとなったときには、新宿か新百合ヶ丘まで行かないと観られないので、とても不便だからです。もう1つの理由は、もし狛江に映画館ができれば観光客が増えると思ったからです。

僕は時々、映画を観に行きたいなと思ったら新百合ヶ丘まで行きます。しかし、そこまでの時間がかかり、お金もかかります。しかし、映画館はいつも大にぎわいしています。それがもし狛江にできれば、映画目当てでも観光客が増えると思います。さらに、狛江市の人も不便ではなくなるので気楽に行くことができます。だから僕は、狛江市に映画館をつくり、さらに急行も通ったら、倍になるほど観光客が増え、狛江市が豊かなまちになると思います。映画館をつくることはできませんか。



これで質問は終わります。よろしくお願いします。

- 副議長（中野 詩織議員） 企画財政部長。
- 企画財政部長（高橋 良典君） それでは、佐藤議員の1問目についてお答えをさせていただきます。

私も、狛江市役所に毎朝通ってくるのに小田急線を利用しています。もし狛江駅に急行が停まれば、すごく楽になるし、よいなと思っているところでございます。

しかしながら、小田急線、急行をどの駅にとめるかと決めているのは小田急電鉄になります。今のような小田急線の形、喜多見から和泉多摩川の駅の間になりますけれども、今のように上を電車が走るようになって、複々線ということで新宿方面にも2本、登戸方面にも2本の線路がある、こういう形になったのは今から18年前、1997年6月のことです。これより昔から比べますと、登戸駅での急行の乗りかえ、成城駅での急行の乗りかえというのがすごく便利になっているのは事実でございます。

残念ながら、今の狛江駅、また和泉多摩川駅のホームの形では急行を停めることは

できませんが、何十年先になるかもしれませんが、駅の建替えとか、そういった時がある時に、市民の皆さんから大きな要望があつて、また狛江駅や和泉多摩川の駅を乗り降りする乗降者数がすごく増えるといったようなことがあれば、急行を停めることができるようになるかもしれません。その際には、ぜひ皆さんで声を上げていただければと思っております。

○ 副議長（中野 詩織議員） 副市長。

○ 副市長（水野 穰君） それでは、佐藤議員の2問目のご質問についてお答え申し上げます。

狛江市に映画館をつくってほしいというご質問でございますけれども、私も映画を観ることは好きで、家の近くにあれば便利だなと思うことはあります。

今、ご質問の中で、映画は新宿や新百合ヶ丘へ行くというお話をいただいておりますけれども、このあたりでは府中市、それと、お隣の調布市でも平成29年に調布駅付近に開業が決まっているところでございます。狛江市には映画館はありませんけれども、近い所にあるという形かなと思っております。

また、調布市では、映画の撮影所など映画関係の会社が数多くあるため、映画のまちとして売り込んでいるところであります。そのため、狛江市におきましては、映画館をつくってまちを売り込むというよりは、フィルムコミッションといいますけれども、映画やドラマのロケ地になるように撮影の誘致・支援を行う狛江ロケーションサービスというものに取り組んでいるところであります。この間もテレビ朝日系、木曜9時、ジャニーズの人気タレントが主演をやりましたドラマが市役所で撮影が行われたところであります。

また、自然豊かな多摩川や、枝豆に代表されるブランド野菜、あるいは音楽のまちや絵手紙のまちといったものを狛江の魅力として発信していけたらというふうに考えているところであります。

また、映画ということに関しましては、狛江市では西河原公民館ホールで年に数回、西河原映画会を開催しておりますので、佐藤議員におかれましては、ぜひ一度ご覧いただきたいと思っております。

以上でございます。

○ 副議長（中野 詩織議員） 11番
長山凌大議員。

〔11番 長山凌大議員登壇〕

○ 11 番（長山 凌大議員） 1つ
目の質問は、図書館についてです。

狛江には図書館が6つあります。しかし、図書館が遠いという人が多数います。ですので、誰でも手軽に行け、本が充実している大きな図書館をつくってほしいのですが、その



点はどうですか。

2つ目の質問は、多摩川についてです。

多摩川は、子どもだけで行ってはいけません。でも、行きたいと言って勝手に行ってしまう人もいます。また、多摩川には多様な生き物がいます。しかし、その生き物を観察するのに子どもだけでは行けません。わざわざ親を毎回呼ぶのは大変です。ですので、子どもだけで行ってもよいエリアをつくってほしいのです。

以上で質問を終わります。よろしくお願いします。

○ 副議長（中野 詩織議員） 教育長。

○ 教育長（有馬 守一君） 1問目のご質問にお答えをいたします。

狛江市では、市民の安全を第一に考えながら公共施設の工事を行ってきています。この工事には、とても多くのお金がかかりますので、今のところ全く新しい図書館をつくる計画はございません。

市内には大小含めて6か所の図書館がございますけれども、読みたい本が市内にない場合には、都立の図書館でありますとか、他の市域にある図書館から借りてきて皆さんに貸し出しをしているというところなんです。これは施設、自治体の大きさなどにかかわらず、本を読みたいという市民の皆さんの希望に応えるための仕組みであります。中央図書館が遠いという方には、ぜひ各地域センターの図書室からも貸出ができますので、そこを利用していただきたいなと思っております。

また、仕事をしている方が来館しやすいように、今、平日の開館時間を1時間延ばして8時までとしておりますし、家族で利用できるように祝日での開館もしているところなんです。

今、市民センター内の図書館のあり方について市民の皆さんにご検討いただいておりますけれども、これからもより多くの市民の人たちが利用できるよう努めていきたいと思っています。

○ 副議長（中野 詩織議員） 環境部長。

○ 環境部長（真田 典孝君） それでは、長山議員の2つ目の質問にお答えいたします。

多摩川は、様々な動植物が生息するなど、豊かな自然環境に恵まれておりますので、生物多様性保全の重要性を学ぶよい機会になります。

しかし、河川では、毎年のように全国で水難事故が発生しております。ふだんは安全と思われるような場所でも、上流で豪雨があると急に増水し川に流されてしまうなど、水難事故につながる可能性があります。そのため、河川などの水辺で遊ぶことは危険も伴いますので、安全確保の観点から、現状、子どもだけで行ってよいエリアをつくるということは難しいところでございます。

ただ、多摩川で今実施されております水辺の学校が行うイベントへの参加を通して、多摩川に生息する生き物観察や川遊びなどを楽しんでもいただければと考えております。

○ 副議長（中野 詩織議員） 12番西澤歩議員。

〔12番 西澤歩議員登壇〕

○ 12 番（西澤 歩議員） 私は、第六小学校の西澤歩です。

まず1つ目の質問をします。

私は、よく和泉多摩川駅の近くにある商店街に散歩をしに行きます。ですが、もう昼頃だというのにシャッターが閉まっている所があります。なので、もっと狛江市を活発にするために、この狛江市に大手の会社を誘致してほしいと思います。そうすれば、人が狛江に集まり、とてもにぎやかになると思います。そして、人が集まると同時に、狛江市は自然で有名ですから、目立たなくても人がいっぱい狛江市に来ることができ、花や木にも目を向けると思います。例えばダイエーやOKストアなら、いろいろな食品や生活用品などがあるので、きっと狛江に住んでいる人たちの役になると思います。なので、ぜひこの狛江市に大手の会社を誘致してほしいと思います。

2つ目の質問は、防犯についてのことで

これは私の体験談ですが、ある日の冬、午後5時ぐらいに、私は学校に忘れ物をしたので取りに行きました。まだ途中まではよかったのですが、私は気づいたんです。今まで私を照らしていた明かりは家の明かりからだ。ふと横を見ると、街灯はピカピカとなっているだけで、ほとんどの明かりはわずかな家の明かりだけ。これだったら不審者が増える、私はそう思いました。

そこで、私は防犯の取組みを進めてほしいと思います。例えば、防犯カメラを街灯などにつけることで、悪い不審者がいた場合捕まる確率は高まるでしょう。あともう1つ、街灯を増やせば暗い所も安心できると思います。

では、これで終わります。

○ 副議長（中野 詩織議員） 企画財政部長。

○ 企画財政部長（高橋 良典君） それでは、西澤議員の1つ目の質問にお答えをいたします。

狛江市をより魅力ある、活力あるまちにするためのご提案、ありがとうございます。最初に市長からも話がありましたように、狛江市は面積が6.39平方キロメートル、非常に小さな市です。日本で2番目に小さい市という形でございます。そのために、市として活用できる土地というのには限りがございます。そのような中、他の市が取り組まれているように、大手の企業を市が中心となって誘致するというのは、かなり難しいことであるということとはご理解いただきたいと思います。

しかしながら、狛江市は利便性がよい場所でございますので、民間の会社から狛江市内に店を出したいというお話をいただくこともございます。現在、狛江市内に大手の店舗をつくるという計画が実際にございまして、近隣住民の人たちと話し合いをしているところでございます。



私たちも、大手の店舗とともに、市内にあります商店街がより一層活発になるよう、市民の皆さんがより喜んでいただけるような取組みを考えていきたいと思っております。

○ 副議長（中野 詩織議員） 市長。

○ 市 長（高橋 都彦君） それでは、2つ目の防犯に関するご質問にお答えしたいと思います。

3年前まで狛江市では、地元警察署との間で地域安全活動の推進に関する覚書というものが結ばれていませんでしたので、それを3年前に結びまして、公道上の防犯カメラが設置できるようになりました。手始めに狛江の駅前にまず2台つけたんですけども、現在までの間に22台ついています。さらに今年度中に10台ということで、特に小学校ではまだ全部ついていませんが、来年度までの間に5台ずつ、通学路の途中、あるいは学校の周辺につけられることになっています。

そういった形で、今、町会や商店街などにも協力をお願いして、徐々に市内中に防犯カメラが設置できるようになると思いますし、先ほど吉川議員のほうからもありましたように、LEDへのつけ替えも進んでいますので、徐々に狛江のまちも明るくなるのかなと思いますし、防犯カメラも犯罪を抑止する効果、犯罪を抑える効果も徐々に出てくると思いますので、もうしばらく市内中に網羅できるまで待っていただきたいと思います。

○ 副議長（中野 詩織議員） 13番今村天有議員。

〔13番 今村天有議員登壇〕

○ 13 番（今村 天有議員） 和泉小
学校の今村天有です。

1つ目の質問は、こまバスの料金についてです。

狛江市には、市を循環するこまバスがあります。北循環と南循環に分かれて狛江市を回っています。こまバスの料金は、大人1人200円です。私は、こまバスの料金を100円にしたほうがいいと思います。



理由は2つあります。1つ目は、料金を100円にすることで利用が増えると思うからです。そして、もう1つは、みんながバスを使うことで排ガスの量が減り、環境に優しいからです。だからこまバスの料金を100円にすることはできませんか。

2つ目の質問は、交差点についてです。

狛江市の交差点は、歩行者の信号と自動車の信号が同時に青になります。この仕組みは、歩行者が自動車にひかれそうになることがよくあります。だから、歩行者の信号と自動車の信号が青になるのを完全に分ける仕組み、つまり歩車分離式の信号はどうでしょうか。歩行者と自動車の交通が完全に分かれるため、安全に交差点を渡るこ

とができます。

実際、交差点を歩車分離式の仕組みにしたことにより、事故が20件から2件、つまり10分の1に減ったというデータもあります。だから、信号を歩車分離式にすることはできませんか。

これで質問を終わります。

○ 副議長（中野 詩織議員） 市長。

○ 市 長（高橋 都彦君） 1問目のこまバスのご質問にお答えしたいと思います。

まだ利用者が少ないんじゃないかなと今村議員もお考えだと思うんですけど、先月中に、平成20年11月以来、こまバスの運行を開始してから100万人を突破したところですよ。徐々に利用者も増えていると思います。

ほかの市や区で運行されているコミュニティバスとちょっと違うところは、普通の路線バス並みの扱いということがされていて、シルバーパスが使えるという大きな違いがあります。普通の他の市や区のコミュニティバスでは、お年寄りが無料で乗れるシルバーパスが使えない所が多いのと比べると、1つのメリットがあるのかなというふうに思います。

ただ、民間のバス会社に委託して行っているんで、やはりその民間会社の採算に合うように、市のほうではいろいろな補助をしなければいけません。今でも年間1,000万円ぐらい、小田急バスに払いながら運行をしてもらっているところで、値段を下げれば、その分をさらに税金の中から払わないといけないということも出てくると思います。今村議員が言われたように、値段を下げればもう少し、利用者が本当に着実に増えてくれれば、その補填しなければいけない額についても少し下げることできるような形も考えられるのかもしれませんが、今のところそういう見通しも立っていないというところもあって、今のままの形で、しばらくは続けざるを得ないのかなというところが現状だと思っています。

○ 副議長（中野 詩織議員） 参与。

○ 参 与（石森 準一君） それでは、今村議員の2問目についてお答えをいたします。

確かに今村議員のおっしゃるとおり、交差点の信号機を歩行者と自動車、これの2つに分ければ歩行者の安全性が高まることや、あるいは、右に曲がったり左に曲がったりする車がスムーズに通行できるなどのよいこともあります。

ただ、よいことばかりではなくて、歩行者用の信号だけが青信号となる時間もあるために、自動車の待ち時間がふえて渋滞が発生したり、また、歩行者についても青になるまでの時間が長くなるために信号無視をする人が増えるなどの悪い影響というものも考えられるところでございます。

いずれにしても、信号を管理をしているというのは市ではなくて警察のほうになりますので、市としては、どのような信号にすることについては断定はできないところですが、もし歩車分離式で設置をしていくというふうになると、市としても警察等の協力、これが必要になってくると考えています。

○ 副議長（中野 詩織議員） 14番表迫史弥議員。

〔14番 表迫史弥議員登壇〕

○ 14 番（表迫 史弥議員） 和泉小学校，表迫史弥です。

1つ目の質問は，校庭のバスケットゴールについてです。

今，和泉小学校では，5，6年生を中心としてバスケットボールがはやっています。しかし，バスケットボールがやりにくくなっています。理由は2つあります。

1つ目は，バスケットゴールを支えている鉄骨についてです。鉄骨がむき出しになっていて，頭をぶつけてしまう危険があります。

2つ目は，バスケットゴールのネットについてです。バスケットゴールにネットがついていないと，ゴールを決めてもバスケットボールをやったなと思えないからです。子どもたちにとって安全で気楽にできる身近な遊びになるように，どうかバスケットゴールを取りかえることはできませんか。

2つ目の質問は，信号無視についてです。

最近，狛江市では，高齢者や10代，20代の人信号無視をしている姿をよく見かけます。信号無視をすると思わぬ事故に遭います。自転車との事故で，ひどいと死亡するかもしれない事故なので，信号無視をしないように，しっかりと市から，子どもから大人までポスターなどを使って呼びかけるなどをして，信号無視に対して対策を考えてもらえますか。

以上で質問を終わります。よろしくお願いします。

○ 副議長（中野 詩織議員） 教育部長。

○ 教育部長（小泉 一夫君） それでは，表迫議員の1つ目の質問についてお答えをいたします。

各学校に設置をしている鉄棒，上り棒，サッカーゴール，バスケットボールなどの運動遊具は，皆さんが安全に使用できるよう，市では毎年安全点検を行っております。この安全点検の中で使用することが危険と判断されたものは，限られた予算の中でも優先して修理や交換をしています。今年も安全点検を行いますので，この結果を踏まえて，必要であればすぐに直していきたいと思います。

なお，点検結果とは別に，校庭のバスケットゴールについては，板の部品交換と，新しくネットを設置するよう準備を進めています。今後は，ゴールを決めたときに，皆さんが「やったな」といった達成感を味わっていただけたと思いますので，楽しみにしてください。

○ 副議長（中野 詩織議員） 市長。



- 市 長（高橋 都彦君） 表迫議員の信号無視の話ですけど、私も確かに道路を通っていて、信号無視をしている大人の人たちの姿を見かけたりして、本当に非常に悲しくなるなと思う時があります。大人なんだから、なおさら模範的に信号を渡ってほしいなと思うんですけども、たまに注意などするとにらみつけられたり、私でも怖い思いをすることがあるので、小学生の皆さんは、なかなかそういうことに対して声をかけることはできないんだと思いますが、信号をちゃんと守っているという姿を皆さんはちゃんと見せていただければありがたいなと思います。

これを何とかマナーを守ってもらうところに持っていくためには警察の協力が不可欠なので、マナー教室であるとか、そういったことを警察と協力しながらやっていますので、ぜひ皆さんも、そういう交通安全教室などが開かれているときに参加できるようであれば、ぜひ参加してもらいたいなと思いますので、よろしくお願いします。

- 副議長（中野 詩織議員） 15番北野真都議員。

〔15番 北野真都議員登壇〕

- 15 番（北野 真都議員） 和泉小学校、北野真都です。

1つ目の質問は、旧狛江第四小学校の校舎の活用についてです。

旧狛江第四小学校は、現在、校庭や体育館を地域のスポーツクラブの活動などに活用することができています。校庭はサッカークラブや野球の練習に、体育館はバレーボールやバスケットボールの練習に使われており、有効に活用できています。しかし、校舎は使われていません。校舎もきれいに整備すれば活用できると思います。もしそれができないのなら、狛江市民にとって役立つ建物を建ててみてはいかがでしょうか。多くの人が利用できる便利な施設があれば、狛江市はより豊かになると思います。

2つ目の質問は、不審者への対策についてです。

最近、狛江市からの不審者に関するメールがたくさん届きます。狛江市民としてとても不安な気持ちになります。狛江市として安心安全パトロールや子どもかけこみ110番などの防犯対策を

していただいているのは知っているのですが、もっとパトロールを強化するなど、安全対策により力を入れてもらうことはできないでしょうか。みんなが安心して暮らせる市にしてほしいです。

以上で質問を終わります。よろしくお願いします。

- 副議長（中野 詩織議員） 市長。

- 市 長（高橋 都彦君） 今のご質問にお答えしたいと思います。

旧第四小学校の校舎、それから校庭の話ですけど、今のルールでいうと、学校の関係以外には、あの場所にはつくれないということになってはいますが、今、あの



旧狛江第四小学校に隣接する多摩川住宅の人たちと、それから調布市も加わってもらって、新しいまちづくりのルールを決めようとしています。地区計画という形で1つのルールが決まっていきますと、地域に役立つ建物、あるいは工作物ができることになります。そのためには地域の合意というものが必要なもので、もう少し時間がかかるのかもしれませんが、多分北野議員が考えていられるようなものになるかどうかはわかりませんが、本当に地域に役立つものができていけばいいなということで、今の多摩川住宅の人たち、それと調布市とも協議しながら、いいものができていくように頑張っているところなので、もうちょっと待っていただきたいと思います。

○ 副議長（中野 詩織議員） 総務部長。

○ 総務部長（石橋 啓一君） 北野議員の2問目のパトロールの強化についてご答弁させていただきます。

狛江市では、防犯対策としまして、防犯協会や地域の方に協力してもらいまして、防犯パトロールを実施しています。防犯協会の方には青色の回転灯をつけた車でのパトロール、徒歩でのパトロールをしていただく方には黄色いベストと腕章をつけて見守りをしてもらっています。目立つ格好でパトロールを行うことで、地域の見守りをしていることをアピールして、不審者が寄りつかないようにしています。

今年の6月の時点では、延べ人数で882名の方に安心安全パトロールに協力していただいておりますが、市内全域のパトロールを行うにはたくさんの人たちの協力が必要になります。例えば、皆さんのお父さんやお母さんなどにも協力を得ることで、狛江市全体で防犯パトロールに取り組むことができるのではないかと考えております。また、学期末などで皆さんがふだんと異なる時間に下校する際には、防災行政無線を使いまして、「間もなく僕たち・私たち小学生が下校する時刻になります。地域の皆さんで僕たち・私たちを見守ってください」という子ども見守り放送を流しまして、地域の方にも皆さんを見守ることができるようにお知らせをしているところでございます。

○ 副議長（中野 詩織議員） 16番堤勇真議員。

〔16番 堤勇真議員登壇〕

○ 16 番（堤 勇真議員） 緑野小学校の堤勇真です。

1つ目の質問は、年中水泳の授業ができるように室内温水プールをつくることはできないのでしょうかです。

夏の間だけプールの授業をすると、来年までに学校でのプールができなくなり、去年の感覚などが衰えていってしまうのではないのでしょうか。また、春や秋でも暑い日はあるので、年中水泳の授業ができるようにしたほうがいいと思います。

あとは、水の冷たさや天気によって授業が左右されないという点です。水の冷たさは、水温の低さにより記録が伸びない可能性もあります。一定の水温を保つことで記録の向上が期待されると考えます。天気によって授業が左右されないという点については、雨の日や暴風雨などでも確実に行うことができるからです。

2つ目の質問は、なぜ自然を減らしてまで老人ホームをつくるのですか。自然を増やすほうがいいのではないのでしょうか。

僕は、自然を減らしてまで老人ホームをつくらなくてもよいと思います。なぜなら、自然ではなく、空き地や使われていない場所を老人ホームにして使えばよいと思うからです。

あと、自然を減らしてまで老人ホームをつくと、得は老人ホームができるしかないけれども、空き地や使われていない場所を老人ホームにすれば、自然も減らさないで老人ホームもできるから一石二鳥なのではないのかなと思います。自然を増やすほうがいいということについては、自然が増えたら生き物のすみかも増えるし、人の癒しにもなると思ったからです。なので、ぜひ狛江の自然を大切に、空き地を老人ホームにしてください。

これで発表を終わります。

○ 副議長（中野 詩織議員） 教育長。

○ 教育長（有馬 守一君） 堤議員の1問目でございますけれども、学校のプールがもし温水プールであったら、確かに天気によってその授業が中止になることもなく、あるいは水泳の記録も向上するかもしれません。

しかしながら、学校では、水泳だけでなく、様々な球技とか、あるいは陸上競技など、いろいろな競技や運動を皆さんが授業で体験をして、全体的な体力とか運動能力を高めていくということが一番いい方法ではないかと考えています。そういう考えから、特別に学校のプールのために温水プールにするというような計画は考えておりません。

○ 副議長（中野 詩織議員） 福祉保健部長。

○ 福祉保健部長（平林 浩一君） では、2問目の老人ホームについてお答えをいたします。

自然を守ることは非常に大切なことです。これは堤議員がおっしゃるとおりだと思います。でも、みんなが大人になるころには、4人に1人、または3人に1人が高齢者になって、みんながおじいちゃんやおばあちゃんの介護をしなくてはならない時代になってきています。生活のために会社に行かなくてはならない、また、寝たきりのおじいちゃんやおばあちゃんの面倒も見なければいけない、そんな人たちのために家族にかかわって面倒を見てくれる老人ホームについては、なくてはならない施設だということをご理解いただきたいと思います。

老人ホームを建てるには広い土地が必要ですが、今、狛江市では、畑や空き地に家やマンションが建って、堤議員が言うような広い空き地や使われていない場所を確保することが困難になってきております。ですから、老人ホームを建てる時には、



敷地に木を植えたり公園をつくったりして緑が残るような工夫をしながら建てているところでございます。現在、狛江旧第七小学校の跡地に新しい特別養護老人ホームを建てておりますが、もともと学校にあった樹木を移植したり、また新たな樹木を植えたりして自然を守りながら建てていますので、ご安心をいただきたいと思います。

○ 副議長（中野 詩織議員） 17番 杠知咲議員。

〔17番 杠知咲議員登壇〕

○ 17 番（杠 知咲議員） 緑野小学校の杠知咲です。

私の提案は、狛江市の暗い場所に街灯をつけてほしいことです。

理由は、日が沈むと真っ暗になってしまい、不審者が出たり犯罪が起こりやすくなるからです。そのために街灯をつけてほしいのです。

また、街灯は青色街灯にしてほしいです。青色街灯は犯罪を抑える効果があると注目されていて、全国的にも広まりつつある街灯です。狛江市は犯罪の少ない市だと聞いています。住民が防犯の意識を高めることを目標として、狛江市がお手本になれる市になれるようにしてもらいたいです。より平和な狛江市になることを期待しています。

私のもう1つの提案は、自転車のルールを初めとする交通ルールを再確認して、住民に呼びかけてほしいことです。

通学路なのにスピードを出している自転車や、雨の日の傘差し運転をしている自転車、両耳にイヤホンをしている自転車はとても危ないです。せっかく地域の人たちが安全のために旗振りをしてっていますが、そういうマナーのない人たちによって事故の原因となってしまいます。地域の人たちで協力し合い、呼びかけることによって事故を防いでいけたらと思います。狛江市の安全な暮らしを求め、この提案をぜひ考えてみてはどうでしょうか。



○ 副議長（中野 詩織議員） 参与。

○ 参 与（石森 準一君） それでは、杠議員の1問目についてお答えをいたします。

これまでも、できるだけ暗い箇所には街路等を設置してきたところでございますけれども、具体的にどこが暗いんだということを教えていただければ、設置に向けた検討をしていきたいと考えております。

また、青色街灯の防犯効果についてということで、幾つかの自治体で採用はされているところであるということは認識をしております。狛江市内でも、実験的に和泉多摩川にある駐輪場に設置をしたことがございます。そのときには、暗い、あるいは見えづらい等のご意見もいただいているところです。効果については、科学的な実証、あるいは証明がされてはいないというようなところですので、効果が確認をされ次第

検討をしていきたいと考えております。

○ 副議長（中野 詩織議員） 市長。

○ 市 長（高橋 都彦君） 2問目の枉議員の質問にお答えしたいと思います。

自転車の交通ルールに違反した行為というのは、私もよく見かけるんですけども、今年の6月に道路交通法という法律が改正されて、あまりにも悪質なマナー違反については講習を受けてもらうというような法改正が行われたところではありますが、なかなかやっぱりそういう法改正があっても、よほどの悪質でないとそういう対象にならないということもあって、14歳以上ということであるので、皆さんは対象にはならないわけですけども、小学生が自転車に乗っていて交通事故を起こした例として、保護者である父兄の方に1億円近い損害賠償の請求をされるという事例まで起きています。自転車も、道路交通、車両法上では車と同様、車両というふうに見なされるぐらい危険なものですから、使い方によっては本当に凶器になってしまいます。

そういう意味で、マナーを守ってもらわないといけないというのは、私たちも頭を痛めているところですけども、先ほど表迫議員の質問にもありましたように、信号無視の問題を初めとして、今、調布警察署との間で交通安全教室をもう少し効果的にできないかという話し合いをしているところで、警察署と協力しながら、マナー違反ができるだけ少なくなるように、市としても頑張っていきたいと思っています。

○ 副議長（中野 詩織議員） 18番古神子匠議員。

〔18番 古神子匠議員登壇〕

○ 18 番（古神子 匠議員） 緑野小学校の古神子匠です。

1つ目の質問は、狛江市全ての公園にごみ箱、トイレ、自転車置き場をつくってほしいということです。3つに分けて説明します。

1つ目は自転車置き場についてです。

公園に自転車置き場がなかったら、自転車が倒れたとき、たまたまそこにいた小さい子に当たって怪我をしてしまったり、植えてある植物がつぶれてしまうかもしれないからです。そして、置き方のマナーが問題になっているということもあります。この問題は、そもそも置き場所がないからそのようなことが起こるので、必要だと思います。そして、つくるときに、自転車が風で倒れるので、一つ一つ区切って自転車を固定するとよいと思います。

2つ目はごみ箱です。

ごみ箱がないと、ポイ捨ての問題が起きて、公園がどんどん汚くなり遊べなくなってしまうので、美しい公園を保つためにもごみ箱は必要だと思います。

3つ目はトイレです。

トイレがないと、一度家に帰らないといけなく不便です。しかも、トイレは本来の目的だけでなく、手を洗ったり、怪我をしたときにも傷口を洗うという意味で必要です。なので公園にトイレは必要です。

これらの点をまとめると、公園にはトイレ、ごみ箱、自転車置き場は必要だと思います。

2つ目の質問は、スポーツができる公園をつくってほしいということです。

なぜなら、最近、運動をしない子どもが増えており、運動することが大切だと感じたからです。また、スポーツ用具が全てそろっていたり、

コートが全てそろっているという所は珍しく、なかなかないからです。例として、公園と建物を共同して使い、建物ではラケットの貸し借りをを行い、公園では敷地内を線などで仕切り、ボールを使うスポーツでは、ボールがほかの敷地に入らないようにネットで囲ったりするとよいと思います。そして、子どもだけでなく、大人や高齢者の方々も参加しコミュニケーションがとれるようになるからです。もしかしたら、違う市や区からも人が来て観光名所になり、狛江市全体が活性化するかもしれません。

このことから、スポーツができる公園や施設は必要だと思います。狛江市民のためにもスポーツができる公園をつくってください。

○ 副議長（中野 詩織議員） 市長。

○ 市長（高橋 都彦君） それでは、古神子議員の1番目の質問にお答えしたいと思います。

自転車置き場などを公園に設置したらどうかというご質問なんですけれども、狛江市の公園というのは、あまり広い公園がないので、一定の面積というのが自由に使えるようにしていないと公園の機能というものが妨げられてしまいます。そこで自転車置き場などをつくると、かなりな面積、公園としての面積をとられてしまうということもあって、前原公園ぐらいの広さがあれば、自転車置き場というのは実はつくっているんですけれども、なかなか他の公園というのは広さが確保できないために設置ができないような状況もあります。

それから、トイレなんですけれども、トイレというのは、やはりどうしても臭いというものがつきものなので、近所の方々の理解というものがどうしても必要になると、夜間になりますと、どうしても囲まれているということから、いろんな犯罪の温床になったりというようなことも起きてくるので、設置に当たっては、やっぱり慎重に考える必要があると思っています。人通りの点であるとか、いろんなことも考えながら、トイレの設置というのは、その臭いの問題も含めて考えていかなければいけないところがあると思います。

それから、ごみ箱なんですけど、これは基本的には設置しないことにしています。なぜかという、先ほど交通ルールのマナー違反の問題がありましたように、どうしてもマナーを守ってくれない人たちがいて、家庭のごみを持ち込んだりとか、家庭ご



みというのは有料化していますけれども、そういった有料化を免れるためにごみを目立たないように持ち込んだり、あるいは危険物が放り込まれるというようなことも考えられたりします。ですから、やはり公園で発生した各自のごみは持ち帰ってもらう、これがルールだと思っていますので、よろしくその点については理解してほしいと思います。

○ 副議長（中野 詩織議員） 環境部長。

○ 環境部長（真田 典孝君） それでは、古神子議員の2つ目の質問にお答えいたします。

スポーツをすることはとても大切なことだと思います。スポーツ用具が全てそろっているわけではありませんが、例えばスポーツができる施設としては、市民総合体育館や西和泉の体育館などがございます。

次に、公園でありますけれども、公園は小さな子どもから高齢者の方まで、いろいろな人が安心して安全に利用できる場所としてつくられております。こうした目的から、現在、既にある公園においては、一部の公園を除きまして、ボールを使うなど他の利用者に危険のおそれのある遊びは禁止しております。このような公園としての本来の用途と限られた面積の中では、新たにスポーツができる場所を確保するということは難しい状況と考えております。

一方で、古神子議員が言うとおりの、公園でボール遊びがしたいという意見が多く寄せられております。そのため、市では、ボール遊びが行えるような十分な広さが確保できる多摩川河川敷にある多摩川自由ひろばにおきまして、一定のルールを守れることを条件にボール遊びができるような試験的な運用を始めるところでございますので、そちらのほうもご利用いただければと考えております。

○ 副議長（中野 詩織議員） 以上で日程第3 一般質問を終わります。

○ 副議長（中野 詩織議員） 最後に、教育長から挨拶のため発言を求められておりますので、お願いします。

○ 教育長（有馬 守一君） 今、6校の18名の皆さんからたくさんのご質問、ご意見をいただきました。本当にありがとうございました。

今回の子ども議会で感じたことは、皆さんが身近なところによく目を向けて、問題を自分で見つけているということが大変すばらしいなと思いました。また、その問題を解決するにはどうしたらいいんだろうかと自分なりの提案をしてくれる方も大勢いましたね。そういう中で、皆さん方の狛江市に対する強い思いを感じることができました。

私たちも、いつもの議会とは違って、ふだんなかなか意見を聞く機会がない皆さんからいろんなご意見をいただいている中で、「あっ、もうちょっとこのことはよく説明していかなくちゃいけないな」とか、あるいは、「そういう工夫も考えていかなくちゃいけないな」というふうな、いろんな貴重な示唆を得ることができました。ぜひこれからの市の仕事に生かしていきたいと思っています。

また、皆さんはこれから、6年後になりますかね。市長の話にもありましたように、東京オリンピックが終わったところには18歳ぐらいになるのかな。そうしますと、もう選挙権を得て、皆さん自身が政治に参加できるようになるんだらうと思います。そういう中で、今日のこの議会の体験というのは大変貴重な勉強の場になったんではないかなと思います。ぜひ生かしてもらえればと期待しています。

最後になりますけれども、この子ども議会で皆さんが発揮されたすばらしい態度、それからすばらしい応答、これに敬意を表しますとともに、それを支えていただいた各学校の先生方、それから保護者の皆さん方に厚く御礼を申し上げまして結びの言葉といたします。本当にありがとうございました。



○ 副議長（中野 詩織議員） 以上で予定した日程が全部終わりましたので、これで平成27年度子ども議会を閉会します。

どうもありがとうございました。（拍手）

午前11時15分 閉会

登録番号（刊行物番号）

H27－44

平成 27 年狛江市子ども議会会議録

平成 27 年 11 月発行

発 行 狛江市

編 集 狛江市児童青少年部児童青少年課

住 所 狛江市和泉本町一丁目 1 番 5 号

電 話 03（3430）1111

頒布価格 60 円

印 刷 庁内印刷